

第 1847 回例会報告

令和 6 年 11 月 7 日(木)晴

◇会長告知◇

会長 太田 淳也

皆さん、こんにちは。

今日 11 月 7 日は立冬です。暦の上では、いよいよ冬です。今年は雪が多いと予想されてます。早めにスタッドレスタイヤに履き替えて冬に備えて頂きたいと思います。

私の仕事は、主にご葬儀のお手伝いをする仕事をしております。コロナ禍を経て葬儀のやり方も以前のような隣り組の方達や、ご友人などの故人



と親しくしていた方を呼ばずに、いわゆる血のつながりでの近親者の方達だけでお送りする「家族葬」が殆どとなってきました。そして、故人様の思い出話をして頂く場である精進落しという会食の機会も無くなってしまい、お持ち帰りのお弁当をお渡しをして解散、という形式のご葬儀が主流となっています。ご葬儀をされたお家の方からのアンケートを見ると、「気を使わずに近親者でゆっくりお別れすることが出来て良かった。」という声が多いのも事実ですが、「お葬式の終わった後に、故人と親しかった方達が、次々に自宅の方にお別れに来て頂き、前もってお知らせをしておけば良かった。」という声も少数ですがあり、私達、お葬式をお手伝いする側も、ご遺族様の要望を細かくお聴きして、適切なアドバイスをして行かなければならないと思っております。

ただ、ここ 1、2 年で増えてきているお葬式がありまして、一般的には「福祉葬」と呼ばれるもので、いわゆる身寄りのない独り身の方の葬儀です。

身寄りがないので、市町村の行政の職員さんから連絡が来て、誰ともお別れをすることなく、火葬だけをするお別れの仕方です。火葬場へ向かうお身体での最後の時には、行政の職員さんと私達だけでお見送りをするというとても淋しいお別れです。今の時代は、家族関係もとても複雑な家庭も多く、故人様にたとえ子どもがいても、もう何年も会ってなかったり、縁を切ってしまっていて、お別れにも来て頂くことが出来ないお家もあり、なんとも言えない気持ちになります。高齢化社会になり、子どもの数も減っていくこれから先も、こういった淋しいお別れも増えていくんだと思いますが、葬儀社としての使命として、精一杯きちんとお見送りのお手伝いをして行かなければならないと思っております。

◇幹事報告◇ 幹事 小笠原 仁

【連絡事項】

1. “11/10 の地区大会に出席される皆様へご連絡いたし

ます。FAX でもお送りいたしましたが、当日は朝 7 時に平山先生の駐車場を乗り合いで出発いたします。小口会員と五味弾会員に車をお願い致しました。当日は、軽井沢アウトレットで、バーゲンがあるため、混雑する予定との事で、7時に出発できるよう、時間厳守に集合をお願い致します。尚、皆様の名札はまとめて持っています。また、終了後に、食彩館1Fの「彩り」という焼き肉店で慰労会を予定しています。地区大会を欠席される方も是非ご参加ください。

2. 11月25日(月)に行われる3クラブ合同例会の出欠表を回覧いたします。ご予約が分かる方は、記入をお願い致します。

【受領文書】財団室 NEWS、ロータリー財団月間リソースのご案内、献血推進協議会よりポケットティッシュ



【出席報告とニコボックス】

出席報告		ニコニコボックス	
		利用人数	今回の金額
会員数	31 人	11 人	25,000 円
出席対象	29 人		
出席者数	20 人	前回累計	320,000 円
出席率	69.0%	累計	345,000 円
前回修正出席数	人	目標額	60万円
前回修正出席率	%	達成率	57.5%

ニコニコメッセージ

胸椎の圧迫骨折により6カ月例会を欠席致しました。やっと少し楽になってきましたので出来るだけ出席致します。よろしく。

小松 孝弘

本日の例会よろしくお祈りします。

萩田 均

(メッセージなし)

宮坂 英貴

11月の地区大会も安全運転で行かせていただきます。

五味 弾



◇委員会報告◇

11月9日に諏訪湖まるまるごみ調査を行います。今回は、下諏訪中とガールスカウトの子供たち100名以上と一緒に、人数が多いので事故が無いように、行いたいと思います。
宮坂社会奉仕委員長

本日、財団と米山の寄付を集めさせていただき、合計85万円となりました。来週の例会でも集めさせていただき、よろしくお願い致します。
成山国際奉仕委員長

◇例会内容◇

クラブ会報・雑誌広報委員会担当例会

「地区のクラブ行動計画リーダーセミナー報告」

先日ありました地区のクラブ行動計画リーダーセミナーの内容を報告いたしました。地区においては古川パストガバナーを推進リーダーとしてアクションプラン行動計画を推進する3年間のクラブ運営を推奨し、クラブが計画的に地域の問題に取り組むことを奨めています。第2ゾーンにおいては桑澤パストガバナーがリーダーです。それぞれのRI、地区の説明を報告いたしました。

(推進リーダー萩田均会員)

クラブの活性化を進める「手段」理解

国際ロータリーの「行動計画推進」はクラブを活性化するための「手段」を説明したものだ。

クラブ活動はRIの理念を理解して進めていく。

- ① 「ロータリーのビジョン」
- ② 「ロータリーの使命」
- ③ 「ロータリーの4つの優先事項」

→しっかり学んで理解していきましょう。



これからの活動方針①

★クラブ運営の方向転換

⇒単年度から複数年度への移行



なぜ、必要か

- 3年間の目標を設定して、計画的にクラブ運営を行い、地域社会に対して、より強いインパクトを与えていく。
- 効果的な奉仕活動を実施する。

→ **全てクラブを活性化するためである。**



これからの活動方針②

クラブが成功するための秘訣

→ 「**目標を立てること**」

- 目標の設定は会員のモチベーションを高め、共通の目的に向かって活動するきっかけとなる。

(例)

- ・年度末までの会員数を何名にする。⇒2年後の目標。3年後の目標
- ・奉仕プロジェクトに何名の会員に参加してもらう。
- ・公共イメージを高める方法。⇒地元で協力できる団体を探す。
- ・ロータリー財団の目標金額の設定。⇒3年後の補助金による奉仕活動

クラブ行動計画を進める前に

1. 戦略計画委員会の設置

- ・直前会長、現会長、次期会長等が参加

2. クラブセントラルへ・ポータルサイトへの入力

- ・今年度の入力⇒3年間の入力

3. クラブ行動計画推進リーダーの選任

- ・長年クラブの戦略計画に関わってきた方
- ・現在の戦略計画委員の方

4. 単年度から複数年度への切り替え

- ・戦略計画の立案作業

5. 次年度の計画より実施

- ・推進リーダー、現会長、会長エレクトが中心に計画

行動計画 4つの優先事項

100万人以上のロータリー関係者から集めた意見を基に作成

- ① **より大きなインパクトをもたらす**
- ② **参加者の基盤を広げる**
- ③ **参加者の積極的なかわりを促す**
- ④ **適応力を高める**

「4つの優先事項」は、クラブの活動を計画、実践する上での基礎となるロータリーの「方針」であるという理解に基づいている。

行動計画の進め方

ステップ1、クラブの調査と基礎知識の習得

- ・クラブの健康チェックシートの活用
- ・会員満足度調査、クラブでの体験

ステップ2、「4つの優先事項」を理解する

ステップ3、「クラブ戦略計画」の立案

ステップ4、「奉仕プロジェクト」の立案と広報

ステップ5、「国際ロータリーとの共有」



トピックス

北原厚子さん
納税県知事表彰を細川富士見RC直前会長とともに受けました。おめでとうございます。

